セイヨウタンポポ

Taraxacum officinale

種名

分類	被子植物双子葉植物綱キク科	俗称		生活型	多年草
分布	日本全土に分布する。				
形態	茎はすべて根生し、さまざまな程度に羽状にさげ、多くは中肋に赤みを帯びる。切ると乳液がでる。				
類似種					
生息場所	ヨーロッパ原産の帰化植物で市街地や牧草地などに普通に生える。				
繁殖	花期は主に3～5月であるが、ほぼ一年中咲き続ける。花茎は中空で、黄色の頭花が1個つき、径約4cm。頭花は舌状花のみからなり、在来種より小花が密につく。総苞は粉白をおび、外総苞片はそりかえる。瘦果は褐色で細く小さく、長さ約3mm。冠毛も在来種より短い。 若葉は食用となる。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 双子葉植物』を改変					